

## 第2回ミノカモ学生演劇祭

### 参加団体を募集！

美濃加茂市では、昨年度から  
学生のみなさんの「創作劇と舞台発表の機会を応援したい」という趣旨のもと  
**ミノカモ学生演劇祭**をスタートさせました。  
東海エリアから4大学、東京から1大学の参加で  
豊かに交流した昨年度に引き続き、  
今年も**第2回ミノカモ学生演劇祭**を企画しています。

この演劇祭の最大の特徴は  
「ミノカモで書いて」「ミノカモで発表する」スタイルです。  
このユニークな試みのためには、皆さんには2回、  
美濃加茂市に足を運んでいただき、合宿していただくことになります。  
**今年の12月に2泊3日**で来ていただき、  
美濃加茂を題材にした書き下ろし新作短編のための、  
**取材&勉強会**に参加していただきます。  
ココでは日本劇作家協会東海支部の協力のもと、プロの劇作家による  
**「劇作ワークショップ&レクチャー」**も行います。  
もちろん大学どうしの交流会もいろいろ計画しています。  
そして、それぞれの学校に持ち帰り、執筆&稽古を重ねてもらい、  
**2014年の3月、やはり2泊3日**の日程で、  
各集団が作り上げた**20分の短編作品を連続上演**していただくのです。  
上演後には**審査、購評会**を行い、ささやかながら**1等賞には賞金も**。  
学生時代にしか持てない**豊かな時間**を駆使して。  
**合宿でしか味わえないような濃密な交流**を体感してみませんか？  
この体験が、今後の皆様の活動の刺激になればと願います。  
この大胆な企画には、**皆さんのポジティブな参加**が必要不可欠です。  
まずは以下の詳細をお目通しいただければ幸いです。

2013年6月吉日      みのかも文化の森

## <募集要項>

### ①「戯曲ワークショップ」

平成25年12月6日（金）～8日（日）

「みのかも文化の森」にて

\*金曜は夕方集合、詳細は次頁以降に。

\*各集団から代表2名が参加

<この合宿の最終日に、作品の創作費援助として一律20万円を、お渡しいたします。ただし、これには舞台に関わる大道具、小道具、衣装などの製作実費、2回の移動・運搬に関する交通費、食費などを含みます。なお、劇場使用料、宿泊費、情報宣伝費などは主催者側が負担します。>

### ②「ガクゲキ祭・短編連続上演会」

平成26年3月7日（金）～9日（日）

「美濃加茂市文化会館」にて

\*金曜は夕方集合、詳細は次頁以降に。

\*各集団から役者、スタッフ合わせて8名以内。

- 参加条件 大学・短大・専門学校等の学生演劇サークル。①②の両日程に参加が可能で、オリジナルの短編作品を書く意欲があること（詳細は以降参照）。
- 募集团体数 **5団体**（応募多数の場合は書類審査あり）
- 募集期間 **平成25年6月28日（金）～8月11日（日）**
- 申込方法 添付の申込用紙を郵送、FAX、もしくは以下のアドレスにメール送信してください。 <museum@forest.minokamo.gifu.jp>
- 参加人数 ①戯曲ワークショップ 団体ごとに原則**2名1組**。  
②短編連続上演会 出演者＋スタッフで**上限8名**。  
\*上演作品は**20分の短編**です。もちろん一人芝居や少数の作品でも構いません。スタッフに関しては後でも触れますが、最低、演出1名、音響オペレーター1名程度でも公演をしていただけます。
- 演劇祭賞 「ガクゲキ賞」1作品を選定。 賞状、副賞として賞金5万円  
\*審査員は未定です。観客投票＋審査員票で選定します。
- 主 催 ガクゲキ祭実行委員会、美濃加茂市  
共 催 日本劇作家協会東海支部  
その他 記録のための上演のビデオ撮影・写真撮影等を行います。

お問合せ みのかも文化の森 電話0574-28-1110 （担当：村瀬・渡邊峻哉）  
岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1

## ①戯曲ワークショップについて

「ミノカモを題材とする戯曲づくり」をあくまでテーマに掲げていますが、これは皆さんの自由な発想を抑制するものではありません。確かに美濃加茂市は坪内逍遙ゆかりの地であり、江戸時代の宿場である旧中山道太田宿や美濃加茂市民ミュージアム、伊深地区の山里、美濃加茂市に残る唯一の銭湯「音羽浴場」（希望者は入浴体験OK）など、題材となる魅力的な要素を持っていますが、決して何かの堅苦しい評伝劇や観光アピールを目的にしたモノではありません。ミノカモをいろいろ巡回、自由に散策していただき、劇作のヒントを得ていただければと思います。極端な話、街角で出会った人や、駅前のレトロな喫茶店がモチーフになっても構わないと思います。みなさんが実際にミノカモを体験し、そこから生まれた「ミノカモ的な感じ」を表現していただけたらと思います。取材をもとに戯曲を書き上げる経験こそが、一つの確かなエチュードであると思います。また、今回のワークショップでは、合宿形式で共同生活を行います。まゆの家（生活体験館）では「同じ釜の飯を食う」体験もしていただけたらと思います。以下、あくまで一案ですが、3日間のスケジュールの青写真です（内容が変更する場合があります）。

### 12月6日（金）

- 18:00 美濃加茂市文化会館に集合。受付。
  - \*鉄道利用の方々は美濃太田駅まで迎えに行きます。
  - \*この日の夕食は各自済ませておいてください。
- 18:20 全体のオリエンテーション。舞台見学。
- 19:00 劇作セミナー①。劇作家による簡単な講義、短い課題など。
- 20:00 交流会①。自己紹介など。
- 21:30 宿泊オリエンテーション。解散。

### 12月7日（土）

- 10:00 みのかも文化の森出発。
- 10:20 美濃加茂探訪ツアー①（全員で行動、3カ所ほど、詳細未定）
- 14:00 自由行動、街歩き。
- 17:30 みのかも文化の森にて「かまどdeゴハン」手作りカレー大会。
- 19:30 劇作セミナー②。課題の振り返り。劇作家による講評。
- 20:30 交流会②。
- 21:30 解散。構想&執筆タイム。

### 12月8日（日）

- 10:00 美濃加茂文化会館に集合。
- 10:20 劇作セミナー③。劇作家による演劇論、短編論。まとめの講義。
- 12:00 皆で昼食をしながら今後のオリエンテーション。
- 13:00 解散。
  - \*各自で「まち散策」をしながら岐路へ。
  - \*希望者には美濃加茂探訪ツアー②をオプションで（2時間程度）

## ②ガクゲキ祭・短編連続上演について

- \*作品は原則20分以内の短編でお願いいたします。
- \*上演順などは後日、協議で決定します。
- \*上演会は一般市民、演劇関係者を観客に迎えた連続上演になりますから、その性格上、以下のような特殊性が考えられます。台本の作成や構想の段階から、ある程度の覚悟、イメージをしていただければ幸いです。

### <照明について>

劇団ごとに吊り替えはできませんので、ある程度の共通プランの元、イメージしていただくことになります。作品が固まった時点で（時期的には1～2月のどこか）基本的なプランを出していただき、プロの照明家が仕込み図面を作成します。あまり凝ったことは出来ません。例えば単独サスがせいぜい2つまで、とか、ソースフォーのネタはアメーバーと木漏れ日のみ、とかといった感じです。その他は個別に相談させていただきます。なお、照明のオペレーターは主催者側でプロの方をお願いします。現場でブッキングからお付き合いします。これも経験の一つだとお考えください。もちろん各集団の照明スタッフが見学されたり、出来る範囲でお手伝いいただいたりするのを禁止するものではありません。

### <音響について>

一応、プロの音響家が着きますが、照明ほど機材に記憶回路的なナイーブさがないので、ぜひ集団からオペレーターを出していただき、音源を持ち込んでいただきたいと思います。音源ソフトの種類などは、12月のワークショップ時点で確認します。何曲使われても構いませんが、著作権使用に関する問題は集団側で処理しておいて下さい。

### <舞台美術、大道具について>

連続上演なので舞台転換に掛けられる時間は限られています。大がかりなパネル建て込みなどはご遠慮いただきたいと思います。共通舞台として、4間半四方の平台をパンチ引きの状態で想定しております。置き道具中心、プラス吊もの程度の空間をイメージしてください。もちろん抽象的舞台美術も歓迎です。また、次の舞台への影響も考え、例えば長時間の掃除が必要な「降らせモノ」などもお断りします。これまた構想が固まった時点で各自ご相談ください。原則的に火気や水の使用は禁止です。

### <宿泊について>

第1回ガクゲキ祭では合宿体制で行いましたが、今回は地元の宿泊施設を検討しています。食事は予算上出ませんが、入浴は不自由ないと思います。各グループ上限8名です。

### ＜大まかなスケジュール（案）＞

- 1日目、3月7日（金） 夕方集合。オリエンテーション。ミーティング。
- 2日目、3月8日（土） 朝からブロッキング、午後ゲネプロ。  
夜に1回目の上演。交流会。
- 3日目、3月9日（日） 10:00集合、前日の振り返り、打ち合わせなど。  
昼に2回目の上演。審査講評会。表彰式。  
バラシ、振り返りミーティング、夕方解散。

以上、長々と書き連ねましたが、何となくご理解いただけたでしょうか？ 学生の皆さんの主体性に期待した、全国的にも例をみない新しい演劇祭です。例えばお渡しする20万円の援助金はどのような配分で使用されても構いません。そのプロデュースの経験も含めて、丸ごと美濃加茂発の芝居作りに参加いただけたらと思います。まだまだ未定の事も多いですが、疑問点は気楽に下記までお問い合わせください。この事業は、来年度も発展性、継続性のある息の長い事業を目指しています。ぜひ奮ってご参加いただければと思います。ご検討いただければ幸いです。

### ●申し込み・お問い合わせ先

みのかも文化の森  
岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1  
電話0574-28-1110 （担当：村瀬）